

あつせん案は25日提示

水俣病補償処理委 19日に最終調整

水俣病補償処理委員会（千種達夫座長）は、二十五日に患者、会社側（チツソ）双方にあつせん案を提示する方針である。

これは十六日、東京・日比谷のあつせん案提示について、今後もの。

松本楼で開かれた同委員会での段取りを協議した結果決めた。これによると、十九日に同委

員会を開いて、補償額などあつせん案の最終的な調整を行ない、このため水俣病患者代表を二十五日中に患者、会社側（チツソ）の双方の代表を東京に招き、意見を聞いたうえあつせん案を提示することにした。